

# Rapport

2025  
Number

131

多摩大学 | 広 報 誌 |

## Vol.131 Contents

第 37 回多摩祭	02
第 19 回 SGS Festa	03
2025 年度春学期 褒賞者	04
学生生活向上委員会へのインタビュー	06
多摩大ジャーナル No.47	07
2025 年度秋季卒業式・入学式	08
保証人向け 就職セミナー	08
2027 年卒対象「多摩大学 学内業界研究セミナー」	08



第37回  
**多摩祭**  
2025/10/25  
SAT

当日はあいにくの雨となりましたが、多くの方にご来場いただき、誠にありがとうございました。学生たちの企画や出店には笑顔と活気があふれ、キャンパス全体が賑わいました。当日の取り組みについて一部ではございますが、ご紹介いたします。



## 広報委員会 広報アンバサダーイベント

多摩祭期間中、広報アンバサダーが様々なイベントを開催！  
「SNS投稿クイズ企画」では、正解者にお菓子を配布しました！



## 松本ゼミ わさび餃子

奥多摩町「わさび食堂」と共同開発をしたわさび餃子を販売！  
奥多摩の特産品であるわさびの風味を味わえる餃子は絶品でした！！



## サークル・アボガド あぼにゃん♡ばんけーき

メイド喫茶「あぼにゃん♡ばんけーき」でもえきゅんなパンケーキを販売♡  
メイドさんとチェキ出来る企画では、齋藤先生がもえきゅんポーズでパチリ♡



## 新西ゼミ ワークショップ・新西ボン

段ボールを組み立てて作るガチャガチャのワークショップは、たくさんのお子で賑わいました！！

## 樋笠ゼミ 2・3年生 新モビリティ・ドライビング教室

電動キックボードと電動車いす体験会では、普段、気軽に乗ることのできない新型モビリティを体験出来るとあって、多くの方が試乗していました！！



## 望月ゼミ ギャンブラーロワイヤル

ブラックジャックやダーツなど、様々なゲームがセッティングされ、エンターテインメント性の高い雰囲気の中、白熱したゲームが繰り広げられていました！！



## 多摩祭への感謝の言葉

多摩祭実行委員長 経営情報学部（4年） 伊藤 圭哉

今年度の多摩祭にご来場くださった皆さま、ご協力・ご支援くださった皆さまに心より感謝申し上げます。皆さまのお力添えのおかげで、今年も無事に多摩祭を開催することができました。

今年は、これまで職員の方々が担当していた業務を学生が主体的に管理し、調理スペースを設けたり、後夜祭ではアーティストをお招きしたりと、新しい挑戦を数多く行いました。準備では、思うようにいかず悔しい場面もありましたが、その一つひとつが大きな学びとなりました。体調を崩すほど大変な時期もありましたが、メンバーから「来年もやりたい」と言ってもらえたことが何よりの励みになりました。

成功も失敗も含めて、とても実りある多摩祭になったと感じています。改めて、支えてくださった皆さまに心から感謝いたします。本当にありがとうございました。



多摩祭前日に会場の準備をする様子





# 第19回 SGS Festa 2025/11/2 SUN

天候に恵まれた当日、多くの来場者の皆さまにお越しいただき、キャンパスには活気と笑顔があふれました。学生たちの企画や模擬店にも多くの方が訪れ、盛り上がりを見せました。当日の取り組みについて一部ではございますが、ご紹介いたします。

## 国際交流課 タピオカ・リンゴ飴

タピオカドリンクとりんご飴を留学生たちがつくって販売しました。



## 焼きそば

香ばしい匂いが芝生広場に…  
鉄板で焼いたアツアツの焼きそばは大人気でした。



## 堂下ゼミ 射的ゲーム

射的でお菓子をゲットするイベントを開催！  
小さなお子さんも楽しんでいました。



## 有志団体 縁日

賑やかな縁日では、わなげが人気！  
子どもたちと学生が笑顔で楽しむ姿が見られました。



## Home Coming Day あつまれ卒業生の沼

ようこそ同窓会へ！  
卒業生や教員が集い、懐かしい時を語り合う、卒業生ラウンジが開設されました。



## クリエイションサークル 写真展示・休憩

休憩できる小さな美術館。  
サークルメンバーが撮った写真や絵画、トミカタウンのミニジオラマを展示。



## 学園祭を通して

SGS Festa 実行委員長 グローバルスタディーズ学部（2年） 山本 ことみ

今年の SGS Festa では、これまでの形にとらわれず、お越しいただいた皆さまに「新しいスタイルの学園祭」を実感・体験し、楽しんでいただきたいという想いから、テーマを「New type」、そして「Level UP」と掲げました。

私たち学園祭実行委員は、日ごろから地域のボランティア活動にも積極的に参加してきました。その結果、学園祭当日は、多摩大学の関係者だけでなく、地域の方々やお子さま連れのご家族など、たくさんの来場者の方々にお越しいただくことができました。

また、学園祭当日には、実行委員一人ひとりがその場に応じて柔軟に対応し、責任感を持って行動することができました。その姿に、メンバーの成長とチームの結束をみることができ、喜びと誇りを感じました。

多摩大学湘南キャンパスの学園祭を無事に開催できたのは、先生方をはじめ、藤沢市民センターの皆さま、協賛企業の皆さま、他大学の皆さまなど、多くの方々のご支援とご協力があったこそだと思っています。心より感謝申し上げます。

来年は、今年以上に「New type」な要素を取り入れ、さらに「Level UP」した学園祭を目指して、実行委員一同、全力で取り組んでまいります。



学園祭実行委員のメンバーでサプライズステージを行う様子

## 経営情報学部

【2025 年度 春学期 優秀学生賞】 各講義科目において顕著に優れた成績を収めた学生

科目名	学生氏名
アジアと日本の歴史	岡野 結愛
アジア経済論	永井 誠十
アントレプレナーシップ論	中水流 晴人
	石澤 章光
	大室 晴菜
	奥田 直大
	キン イシュン
キャリア・デザインⅠ	関口 琢望
	萩原 向日葵
	小川 要
	塩谷 拓巳
	名嘉 紀明
キャリア・デザインⅢ	丹伊田 一輝
	諸岡 優人
	小山 紗
	東條 裕羽
	渡邊 孝充
クリエイティブデザインⅠ（動画編集）	渡辺 匠海
	赤間 椰
	谷 七海
	永良 紫艶
	芦名 瑞紀
グローバルビジネス入門	荒谷 花瑠鈴
	石川 翔大
	植田 愛里
	オウ ケイコウ
	大村 優翔
	工藤 湊太
	小池 紫遠
	白木 俊輔
	田澤 悠祐
	長沼 勇樹
	新倉 大希
	西田 慧
	橋爪 颯弥
	マリ
	山下 晴太郎
	リン カイリン
サービス産業論	大室 晴菜
	ガ ハクシン
	加藤 匠人
	長久保 琉聖
	渡辺 琉空
サブカルチャー論	鈴木 啓太
	荒山 拓磨
	和泉 光輝
	岡野 結愛
	亀田 光貴
スタディースキル入門	韓 統
	九嶋 翼
	小池 紫遠
	坂井 龍河
	下村 怜音
	寺崎 賢人
	新倉 大希
	橋爪 颯弥
	福永 紗千
	リュウ シセツ
	リン イェンシュエ
	後藤 哲平
	チェ ソヨン
	チン センビン
	渡邊 孝充
データサイエンスⅠ（データ活用基礎スキル）	ガントントン
	ナウム エムディ
	中野 諒
	阿部 健太
	小出 愛弥
デザイン思考	チン ウヨウ
	平山 遥人
	村上 諒汰
	安西 佑騎
	ガントントン
ビジネスモデル設計	鈴木 伶奈
	チェ ソヨン
	松井 秀人
	岩間 大地
	奥田 琥太郎
ビジネス数学Ⅰ（線形代数）	グエン ゴック エンアン
	新倉 大希
	原田 祐輔
	中野 遥斗
	キム ヒョンジ
ブランドマネジメント	チェ ソヨン

科目名	学生氏名
ブランドマネジメント	花山 浩聖
	深澤 敬輝
	森 一明
	内山 航
	佐藤 利磨
プログラミング言語（C#）	下川 里織
	西村 大希
	小津 明
	佐藤 利磨
	野坂 明衣
マーケティング・データ分析実践	高橋 瞭
	村上 諒汰
	シュ ハイハイ
	関口 琢望
	中村 唯花
マーケティング・リサーチ	成田 涼介
	水野 麟太郎
	芦名 瑞紀
	岡野 結愛
	小出 愛弥
マクロ経済学	鳥越 颯空
	彦坂 天音
	村木 玲美乃
	飯塚 政秀
	彦坂 天音
ユーザインタフェース	阿部 航大
	新里 一華
	荒井 美緒
	亀田 光貴
	菊地 颯太郎
ライフ・デザイン	坂上 暖空
	野田 龍斗
	原田 祐輔
	彦坂 天音
	福永 紗千
会計入門	松本 尚佳
	藤間 南々子
	オウ タクブン
	小山 紗
	晦日 伶菜
韓国ビジネスコミュニケーションⅠ	岡野 結愛
	古井戸 航
	新倉 大希
	村木 玲美乃
	リ シン
韓国語Ⅰ	平山 遥人
	荒川 雅敏
	大塚 飛翔
	亀田 光貴
	久保 裕睦
教育心理学	チン ハクブン
	内藤 晃太郎
	新倉 大希
	樋口 心愛
	福田 健太
業界研究	古田 陽翔
	松本 尚佳
	リン カイリン
	荒川 雅敏
	一色 剛志
経営学入門	大内 悠生
	小倉 陸
	加藤 翔
	東垣外 礼華
	チョウ ヨウテン
経営戦略論	山添 琉宇
	リ シン
	シャ アンティン
	ジョ エイホウ
	チン センビン
経済学入門	山松 桜上
	佐藤 虎太郎
	高橋 和磨
	秦 瑠衣斗
	深澤 敬輝
現代欧州論	石野 創太
	大山 未来也
	岩澤 章光
	キン イシュン
	長久保 琉聖
国際ビジネス論Ⅱ	青木 快
	久保田 颯太
	家根谷 大晟
	小山 紗
	小山 紗
国際関係論	
国際経済学	
財務分析	
事業構想実践論	
事業構想論	
時事問題研究基礎	
情報と職業	



科目名	学生氏名
情報と職業	堀越 雪那
情報ネットワーク	有川 英寿
情報法	高橋 瞭
	樋口 心愛
多摩の歴史	樋口 心愛
	井上 慶太郎
	大内 悠生
	加藤 隆之介
	笹岡 宗史
	鈴木 駿
地域ビジネスプランニング	オウ エキキ
	加藤 隆之介
地域金融論	関口 天翔
	花山 浩聖
	森 一明
	渡邊 佐武
中級簿記	阿部 航大
	原田 佑晃
	ハン シセイ
中国ビジネスコミュニケーションⅠ	ガ ハクシン
中国経済論	坂本 はんな
	ハン シセイ
	リ イチイ
中国語Ⅰ	坂井 龍河
	佐藤 七彩
	寺崎 賢人
	野崎 遼
中小企業論	小川 洵
	岡安 大我
	佐藤 虎太郎
調査実験入門	長沼 創太
	西村 大希
	野坂 明衣
	マジョボン
哲学入門	齋藤 礼朗
	ソドビリゲ
東アジア入門	シジル (希吉日)
	シジル (喜吉日)
	花山 浩聖
	岩澤 章光
	大内 悠生
特別講座Ⅰ	杉山 遼
	永良 紫艶
日本語講座初級	エーミー カイン
	グエン ゴック エンアン
	コウキ
	シヴァクマール リシヴィシュ
	ジョ ブンコウ
	ソウ ウカン
	チョウ ウカン

科目名	学生氏名
日本語講座初級	チョウ セイヨウ
	チン カンイ
	ハン キンシン
	ボー ディ キムゴット
	マタン
日本語講座中級Ⅰ	オウ ショウウ
	ザイ セイホウ
	シャ アンティン
	ショウ セイイ
	チェ ソヨン
	チン シュウ
	チン センビン
	モウ シカ
	ラ ショウセイ
	リ ヨウ
日本事情Ⅱ	エキ モハ
日本事情Ⅲ	バン メイケン
認知心理学	ガ ハクシン
	長久保 琉聖
Basic Office EnglishⅠ	カン ショウトウ
	ニャムダワー エンフザヤ
	吉川 侑希
BE 実践Ⅰ (戦略)	ジョ エイホウ
BE 実践Ⅲ (財務)	深澤 敬輝
	山畑 祐也
BE 実践Ⅴ	井上 慶太郎
	齋藤 鼓子
English ExpressionⅠ	荒川 雅敏
	塩谷 悠人
	橋爪 颯弥
	山口 友悠
	山田 景斗
	荒山 拓磨
	五十嵐 勇哉
	小川 舞翔
	亀田 光貴
ICT コミュニケーション入門	シン ミンコウ
	関 琢磨
	高橋 香悠
	鳥越 颯空
	中村 亮太
	羽田 陽向子
	宮本 結衣
ICT マーケティング	高橋 依吹
Practical English ConversationⅠ	シャキヤ サミyak
	ミヤッスウェイ
Web デザイン	佐藤 利磨
	シュ ハイハイ
	永良 紫艶

※科目名 50 音順

## 2025 年度 春学期 成績優秀者奨学金奨学生

学業及び成績が優秀で人物及び健康ともに優れ、他の規範となる学生に対して、多摩大学奨学金規程に基づき審査を経て区分に応じた奨学金を支給しています。

### ●経営情報学部

#### ■ 1 年次

・区分 1

学生氏名
岡野 結愛

・区分 2

学生氏名
荒谷 花瑠鈴
石川 翔大
伊藤 拓音
亀田 光貴
菊地 颯太郎
工藤 大祐
小池 紫遠
坂井 龍河
佐藤 七彩
ジョ ブンコウ
瀬川 久貴
チン ハクブン
鳥越 颯空
内藤 佑葵
羽田 陽向子
福永 紗千
松本 尚佳
村木 玲美乃
リン カイリン

#### ■ 2 年次

・区分 1

学生氏名
佐藤 利磨

・区分 2

学生氏名
阿部 健太
有川 英寿
岩澤 章光
ガ ハクシン
片平 唯央
加藤 匠人
加藤 隆之介
金子 一真
鴨下 紹矢
キン イシュン
後藤 大貴
佐藤 蒼馬
シャキヤ サミyak
堤 純一郎
豊岡 昂大
名嘉 紀明
長久保 琉聖
西宮 千太
野坂 明衣

#### ■ 3 年次

・区分 1

学生氏名
小山 紗
平山 遥人

・区分 2

学生氏名
石野 創太
小貴 快斗
齋藤 礼朗
坂本 はんな
シュ ハイハイ
関口 琢望
平良 きよし
高橋 瞭
中野 諒
成田 涼介
花山 浩聖
バン メイケン
樋口 心愛
深澤 敬輝
村上 諒汰
森 一明
リ イチイ
渡邊 佐武

### ●グローバルスタディーズ学部

#### ■ 1 年次

・区分 1

学生氏名
ニン カコウ

・区分 2

学生氏名
新井 蒼大
木村 綾
小林 七音
柴田 誠太
芳賀 貴生樹
福島 佑佳
松崎 隼士
丸子 夏歩
山口 真由

#### ■ 2 年次

・区分 1

学生氏名
ベン リチャ

・区分 2

学生氏名
清水 麻祐
庄司 晶
須藤 颯
高島 琉奈
高橋 ヴァンナ
瀧本 羽菜
宮藤 咲菜
リ オクトウ

#### ■ 3 年次

・区分 1

学生氏名
嶋村 東人

・区分 2

学生氏名
五十嵐 蓮
大島 夏鈴
齋藤 那菜子
高橋 まみ
チン ジュウ
堂下 晃大
深町 夏美
前田 愛実
山田 柊斗

※氏名 50 音順

※学年は 2025 年度のものとなります



## 学生の声が、キャンパスの未来を動かす !!

多摩大学の学生生活向上委員会は、学生の「やりたい」を形にする委員会です。現在、交換留学生（以下、留学生）との交流を中心に、7名の学生がイベントの企画・運営など学生生活をより豊かにする活動を行っています。

今回は、委員会で活躍する3名の学生に、活動の魅力や今後の目標などについて伺いました。インタビューは、インターンシップで来校した都立永山高等学校の1年生2名が担当しました。

### 高校生：学生生活向上委員会は、どんな活動をしている委員会ですか？

古田：多摩大学の学生生活の満足度を高めることを目的としています。

戸田：主な活動は、留学生などとの交流です。留学生からの「友達をつくりたい」という声を受けて、「フレンズカフェ」や「留学生によるミニ文化講座」などのイベントを学生主体で企画・運営しています。

山下：学生が自分のやりたいことを形にできるのが、この委員会の魅力だと思います。

### 高校生：委員会に入ろうと思ったきっかけを教えてください。

戸田：2年生の前期、授業で留学生と出会ったことがきっかけです。留学生の熱意に感動し、多国籍な環境に関わりたと思い、委員会に入りました。

古田：留学生向けオープンキャンパスのスタッフを担当し、活動を通して学生生活の満足度を高める方法を考えるようになりました。

山下：古田さんと同じオープンキャンパスにスタッフとして参加し、国際交流の楽しさを実感したことがきっかけになり、職員の方の勧めにより副委員長として活動することになりました。



前日に多摩祭の準備をしているところ



ミニ文化講座でマンゴラッシーを作っているところ



ミニ文化講座に登壇する留学生との事前打ち合わせの様子

### 高校生：これまでにどんな活動を行ってきたのか教えてください。

古田：多摩祭では、小学生向け「縁日コーナー」を企画・運営しました。

戸田：留学生の歓送迎会や「フレンズカフェ」のお菓子作り、季節に合わせた七夕やクリスマスの飾りつけなど、学内を活性化させる活動を行っています。

### 高校生：印象に残っている活動はありますか？

戸田：留学生の送別会で参加者が鉄板焼きそばを「美味しい」と食べている姿や楽しそうな笑顔を見たときにやりがいを感じました。

古田：多摩祭の縁日企画では、人員集めから準備、運営までを自分で担当し、苦労はありましたが、大きな達成感を得ました。

### 高校生：活動を進める上での課題や工夫していることはありますか？

古田：イベントをいかに周知し、参加につなげるかが課題です。今年本格始動した委員会として試行錯誤しながら進めています。

戸田：メンバーが少ないことが課題です。3年生は就活で参加が難しいため、1、2年生を中心に関心がありそうな学生に声かけ

## 〈学生生活向上委員会メンバー〉



委員長  
戸田 涼  
(経営情報学部 3 年)



副委員長  
古田 陽翔  
(経営情報学部 1 年)



副委員長  
山下 晴太郎  
(経営情報学部 1 年)

を行っています。

山下：イベントを企画するときは、「楽しめるか」「わかりやすく遊べるか」を大切に、シンプルながら工夫のある内容を心がけています。

### 高校生：これまでの委員会活動で大変だったことはありますか？

古田：準備段階で人員が不足し、大学側に多くの支援をお願いせざるを得ませんでした。

山下：言葉が通じにくい状況でイベントの楽しさを伝える工夫が大変でしたが、「楽しかった」「ありがとう」と言われたときに、苦労が報われたと感じました。

### 高校生：今後挑戦してみたいことや実現したいことはありますか？

古田：大学の支援なしで企画から片付けまでを学生だけで完結する活動を実現したいです。

山下：湘南キャンパスと多摩キャンパスの学生が一緒に参加できるイベントを企画し、学生生活をさらに盛り上げていきたいです。

### 高校生：委員会活動を通じて感じた多摩大学の良さを一言で教えてください。

古田：教職員や学生との距離が近く、温かい雰囲気があります。

戸田：留学生が多く、国際的で多様な交流ができます。

山下：教職員や学生が協力的で、思いやりにあふれています。

戸田：一番伝えたいことは、少人数だからこそ、一人ひとりが輝ける環境があるということです。



高校生によるインタビューの様子



## 高校生の感想



大学生へ質問するのは、緊張しましたが、会話がしやすかったので、自然にインタビューをすることが出来ました。

初めは大変そうだな、と思っていましたが、思ったより楽しく取り組みました。



## インターゼミで学ぶ経験と考え方

経営情報学部 4年 野上 隆之介

私はインターゼミに大学2年から参加し、さまざまな班活動を通して、大学生活でしか得られない経験や考え方を身につけることができました。

特に印象に残っている活動としては、サービス・エンターテインメント班での「広島に残る歴史、原爆を軸とした観光提案」と、多摩学班での「在日外国人を対象に、団地での生活やインド人の方々が主導するお祭りに参加し、日本人とどのように共生していくかを研究する活動」です。

インターゼミに参加して最初に感じたことは、「自分は班活動に貢献できるのだろうか」という不安でした。その理由は、大学1年から活動している同学年や先輩方、そして人生の先輩である教授や大学院生の方々とともに、初めての研究活動に臨むことへの恐れ、さらに専門的な知識を持ち合わせていないことへの不安があったからです。

しかし今振り返ると、それは杞憂だったと思います。自分にできることや、ふと思ったことを口にしてみると、コミュニケーションが苦手でもきちんと耳を傾けてくれる——それがインターゼミの良いところだと感じました。

また、社会人の方々と積極的に話す機会にも恵まれ、広島の前爆被害者の関係者や、西葛西に多くのインド人が集まる基盤を築いた会長など、人生の中で出会う機会があるかも分からない方々とお会いし、その想いや考えを直接伺うという貴重な経験をすることができました。

これらの経験を通して、私は「自分の視点や考え方は自分だけのものであり、それを多くの人に興味や関心を持ってもらえる可能性がある」と気づきました。

その気づきから、「何事にも自分を卑下する自己評価は捨て、まずは行動してみよう」という考え方を持つようになりました。



広島原爆被害者への取材に対し、中国新聞からインタビューを受けているところ



インド人会チャンドラニー会長への取材の様子

## 言葉を通して感じた人とのつながり

グローバルスタディーズ学部 4年 パク ジュンジェ

2024年の夏、竹内一真教授の推薦により「FUJISAWA Foodies」という地域ボランティア活動に参加しました。

この活動では、藤沢市内の飲食店やお土産店、ホテルレストランなどを訪問し、地域の料理を外国人観光客にわかりやすく紹介することを目的としています。私たちのチームはお店の方々にインタビューを行い、「どんな料理を紹介したいのか」「どのような食材が使われているのか」などを丁寧に聞き取りました。

特に印象に残っているのは、メニューを韓国語や英語など、さまざまな言語に翻訳する作業です。ビーガンやベジタリアン、宗教的理由で特定の食材を食べられない人にも理解しやすい表現を考えながら、言葉が文化をつなぐ架け橋になることを実感しました。

活動そのものもとても楽しく、やりがいを感じました。お店の方が「ありがとう」と笑顔で言ってくれたとき、自分の小さな力でも役に立てたのだと思うと本当にうれしく、温かい気持ちになりました。

最初は日本語でのインタビューに緊張しましたが、回を重ねるうちに慣れ、お店の方々と自然に会話できるようになりました。チームメンバーとも協力し合い、私もチームに貢献したいという気持ちで一生懸命取り組みました。

この経験を通じて、語学力だけでなく、地域への貢献や人と関わる喜びの大切さを学ぶことができました。



店長へインタビューする様子



お店の前で取材内容を確認しているところ



## 2025 年度 グローバルスタディーズ学部 秋季卒業式・入学式

2025 年9月12 日（金）、グローバルスタディーズ学部の秋季卒業式および秋季入学式が挙行されました。

秋季卒業生に対し、新美潤グローバルスタディーズ学部長から学位記が授与されました。

同日午後に行われた入学式には新入生 3 名および海外提携校からの交換留学生 25 名が参加し、新たな門出を祝う、あたたかな式典となりました。



卒業生のことば



真剣に式典に臨む新入生たち

## 2025 年度 経営情報学部 秋季卒業のつどい

2025 年 9 月 13 日（土）、経営情報学部の秋季卒業のつどいが挙行されました。

秋季卒業生 11 名のうち、式に出席した 4 名の卒業生に対し、小林英夫経営情報学部長から学位記が授与されました。



学位記を掲げた卒業生と教員

## 経営情報学部 / グローバルスタディーズ学部 保証人向け 就職セミナー

2025 年 10 月 25 日（土）、多摩キャンパスにて経営情報学部就職セミナーが開催されました。第 1 部は「これだけは知っておきたい就活のトレンドとキャリア支援課活用法」（講師：株式会社学情 キャリアサポート部 特任部長 東 修三氏）、第 2 部はトークセッション「4 年生内定獲得者に聞く多摩大生最新就活体験談」が行われ、3 名の学生が登壇し自身の就活体験の苦労や成果、保護者へのお願いなどが来場者に伝えられました。

また、11 月 2 日（日）のグローバルスタディーズ学部における就職セミナーでは、講演「変化する新卒採用と就職活動～保護者によるキャリア支援への向き合い方～」(講師：株式会社文化放送キャリアパートナーズ 就職情報研究所 所長 平野 恵子氏)として、新卒市場と就活スケジュール、新卒採用の特徴的な動き、保護者によるキャリア支援のヒントなどについて熱く語られました。



ファシリテーターの東氏（左）と登壇者の学生たち（経営情報学部）



平野氏による講演（グローバルスタディーズ学部）

## 2027 年卒対象 多摩大学 学内業界研究セミナー

2025 年 11 月 11 日（火）、多摩キャンパスにて、2027 年卒業予定（3 年生）の学生を対象とした「多摩大学 学内業界研究セミナー」を開催しました。参加企業が大会場で自社の紹介を行い、その後、各教室に分かれ各回 30 分 3 回のセミナーを実施しました。学生たちはスーツ着用で身だしなみを整え、希望する企業 3 社のブース（教室）を訪問し、事業内容や業務の説明を熱心に聞いていました。

### 【参加企業】

一般社団法人上尾中央医科グループ、株式会社イノベーションオブメディカルサービス、株式会社内野製作所、小田急電鉄株式会社、株式会社オヤマダ、JA 東京中央、スジャータめいらくグループ株式会社東京めいらく、多摩信用金庫、日本瓦斯株式会社（ニチガス）、株式会社プロネクサス



参加企業による自社紹介